

社会福祉法人 楽山会  
椎の実子供の家

平成25年度 事業報告

創設者の言葉「幼児の躰でその一生が決まる」を基本理念とし、保護者と共に子ども達の育ちを援助していくよう努めた。また保護者就労支援という役割も忘れず安心して預けられる保育園を目指した。24年度末に室外の環境整備を行った。そのため今年度は、園庭では乳児がのんびりと自由に遊び、幼児はグラウンドを使って大きく体を動かすことができた。子どもの発達段階に応じた環境を提供することができ、保育士も発達段階を踏まえた遊びの提供に努めた。

＝25年度重点目標＝

- I 保護者との連携
- II 地域との連携
- III 職員の資質向上
- IV 防犯カメラの設置
- V 園舎（既存棟）雨漏り修繕と芝生の整備

I 保護者との連携

職員と保護者との接点である送迎時間を大切なコミュニケーションの時間と考え、短い時間でも必要な情報交換を行えるよう努力した。保育士はシフト制で動いているため、送迎サイン表を活用し連絡漏れがないよう心掛けた。またどなたにも笑顔で挨拶をすることを意識した。

一方、保育参観後には面談の時間を設け保育園生活を保護者に伝えたり、家庭での様子を聞いたりじっくりとコミュニケーションがとれる場を設けた。年長児の保護者には就学を意識していただくため、6月に集中的に個人面談を行った。一年生になるまでに、意識して育ていきたい内容をプリントにしてお渡しし、3月の卒園までの目標を互いに確認し合った。

II 地域との連携

近隣の方にも意識して、職員がご挨拶をして信頼関係を築くようにした。一日動物村や夏祭りには積極的にお声掛けをし、参加していただくことで保育園の役割を知っていただけるよう努力した。地域の「子育て家庭」に対しては広報誌を発行した。また『コミュニティおおさわ』に保育所体験の日程や行事予定を掲載した。遊び場提供と離乳食講習会などの育児講座、毎月誕生会を行うなどイベントも開催し、年間でのべ1939人の方に遊びに来ていただいた。また保育所の特性を活用し、保育指導・栄養指導・保健指導を行い、各職種の専門性を発揮できるよう努力した。

III 職員の資質の向上

第三者評価利用者調査やFAP制度を活用し、自己評価や上位者との面談を行い、各職員の質の向上に努めた。

IV 防犯カメラの設置

在園者や施設利用者の安全性を高めるため、敷地内に防犯カメラを3台設置した。モニターは事務所に設置し、今後も非常事態の早期発見・早期対応に役立てる。施工業者はセコム株式会社。三鷹市の補助金「安全対策設備整備費助成」600,000円を活用した。

V 園舎（既存棟）雨漏り修繕と芝生の整備

本館と遊戯室の屋上に雨水が溜り、雨漏りが生じていた。保育への支障があり、園舎の老朽化を防ぐため最新の防水施工を行った。三鷹市の補助金「施設改善費助成」1,000,000円を活用した。

また芝生の整備も行った。星の館の雨漏りがあり、屋根の塗装及び雨漏りの修繕を行った。